

素屋根組立(2期工事)

7月16日より、素屋根組立(2期工事)が始まりました。
素屋根の屋根部分を組立てていきます。

地上で組立てた合掌(がっしょう)トラスをクレーンで吊り上げます。



上で待ち構えている鳶職さんが、取付けていきます。



墜落・落下防止の安全ネットを取付けながら、合掌トラスを順番に付けていきます。



国道10号沿いの正面側には、ほぼ実物大の御楼門がプリントされたシートを張っています。7月14日の「県民の日」に合わせて、シートライトアップの点灯を開始しました。今後、工事完了までの間、日没～22時の時間帯でライトアップします。御楼門のスケールの大きさを感じていただけたらと思います。



段々と屋根の形が、出来てきました。



屋根にはトタンを張り、雨の日でも木材を濡らすことなく、作業ができます。
さらに、台風の時、屋根のトタンが飛ばされないよう、飛散防止ネットが張ってあります。



素屋根の背面側には、台風対策として、バットレス(つかえ棒の様なもの)を設けます。



合計7箇所のバットレスの足元を敷鉄板に溶接します。
台風が来た時には、踏ん張ってくれます。



更に、大型土嚢(どの方)の重りを据え付けます。
これでもう、押されても、引っ張られてもビクともしません。



外周の素屋根壁部分にシートを張って、完成です。